

## [大地震が発生したら]

地震はいつどこで発生するか予測ができません。携帯電話の緊急地震速報に注意して、自分の身を守るよう心がけて下さい。

### ●強い揺れが発生したら

落ち着いて、衣服や荷物などで頭を守る。ガラスや倒れそうなものから離れる。火を使っている場合はすぐに消す。出口を確保できるよう扉を開ける。

### ●避難について

あわてず、走らず、さわがない。エレベーター、エスカレータは使用しない。電車内、駅構内、各種の施設にいる場合は係員の誘導に従って避難する。海岸近くにいる場合は、すぐに高台へ避難。地下にいる場合は地上に避難。

### ●注意すること

避難時はケガ人の救助など周囲と協力する。火災を発見したら大声で知らせ、できる範囲で初期消火に協力する。

**むやみに携帯電話を使用せず、電池を温存すること。**

## [家族への連絡方法について]

地震など大災害発生時に、安否確認が急増し、電話やLINEなどがつながりにくい状況になった場合に提供されるサービスです。

### 電話で確認する

#### NTT災害用伝言ダイヤル

伝言の録音

伝言の再生

171

へ電話をかける  
ガイダンスが流れる

1

市外局番＋  
自宅電話番号

2

市外局番＋  
自宅電話番号

- 利用可能な端末  
／NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数／1電話番号あたり10伝言
- 録音時間／1伝言 30秒以内
- 伝言保存期間／48時間

## [大学への連絡について]

自分の安全が確保でき、家族とも連絡が取れ、落ち着いた状態になったら、大学に安否の連絡を行って下さい。

大災害時の安否の連絡は、大学WEBサイトのトップページにある下のバナーからログインして安否の連絡を行って下さい。



災害時  
安否確認サイト

大災害時の大学の対応は大学のWEBサイトから行いますので、チェックするようにして下さい。

[www.osaka-sandai.ac.jp](http://www.osaka-sandai.ac.jp)

災害発生時は、電話連絡やメールでの連絡には、大学から返信ができません。必ず上記サイトから連絡を行って下さい。

## [個人情報]

フリガナ

氏名

学籍番号

住所

自宅電話番号

生年月日

血液型 型 Rh ( )

持病 常備薬

自宅近くの避難所

家族との待ち合わせ場所

※この欄は第三者があなたの身元を確認するためのものです。記入は必ず油性ペンで行うこと。

## インターネットで確認する

### NTT災害用伝言板(Web171)



[www.web171.jp](http://www.web171.jp)  
へアクセス

登録または確認したい電話番号を入力  
※数字のみ「-」なしで入力

伝言を登録する

伝言を確認する

登録の場合は「ひらがな氏名」「安否」「伝言」を入力して「伝言を登録する」をクリック

- 利用1伝言・100文字以下・最大20件蓄積可
- 各携帯電話の会社が提供している災害伝言板サービスもありますので、自分の携帯電話のサイトにアクセスして、アプリのダウンロードなど準備をして下さい。また、体験版サービスもありますので、家族の方と体験しておいて下さい。

## [帰宅について]



大学から10kmの範囲

広域に大災害が発生した場合、交通機関が全て不通になる事態が予想されます。また、二次災害を防ぐためにも災害時の帰宅は徒歩が原則です。徒歩で帰宅できる範囲は大学から10kmが目安です。通常で4時間程度です。夜間の帰宅は危険ですのでやめましょう。自分が徒歩で帰宅できるかどうか、徒歩で帰宅する場合の経路とおよその時間を確認しておいて下さい。

# 大地震対応 マニュアル

緊急地震速報が鳴ったら！

強い揺れが来るまでの時間は、数秒から10秒。

あわてない、冷静に、身を守る。



学内で地震が発生したら！

あわてない、冷静に、身を守る。揺れが収まったら、落ち着いて、教職員の指示に従って避難。避難場所で安全が確保できたら、家族に安否の連絡。帰宅は正確な情報を得てから。

大阪府のHP

[www.pref.osaka.lg.jp/](http://www.pref.osaka.lg.jp/)

気象庁・防災気象情報

[www.jma.go.jp/jma/index.html](http://www.jma.go.jp/jma/index.html)

NHK

[www.nhk.or.jp/](http://www.nhk.or.jp/)

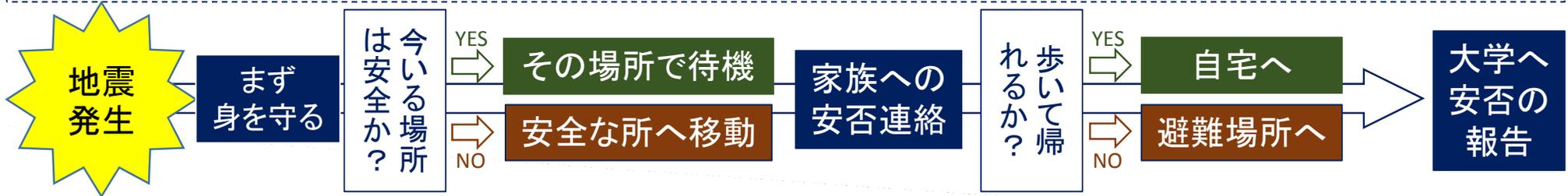
JR西日本

[www.westjr.co.jp/](http://www.westjr.co.jp/)

### ①地震が発生したら

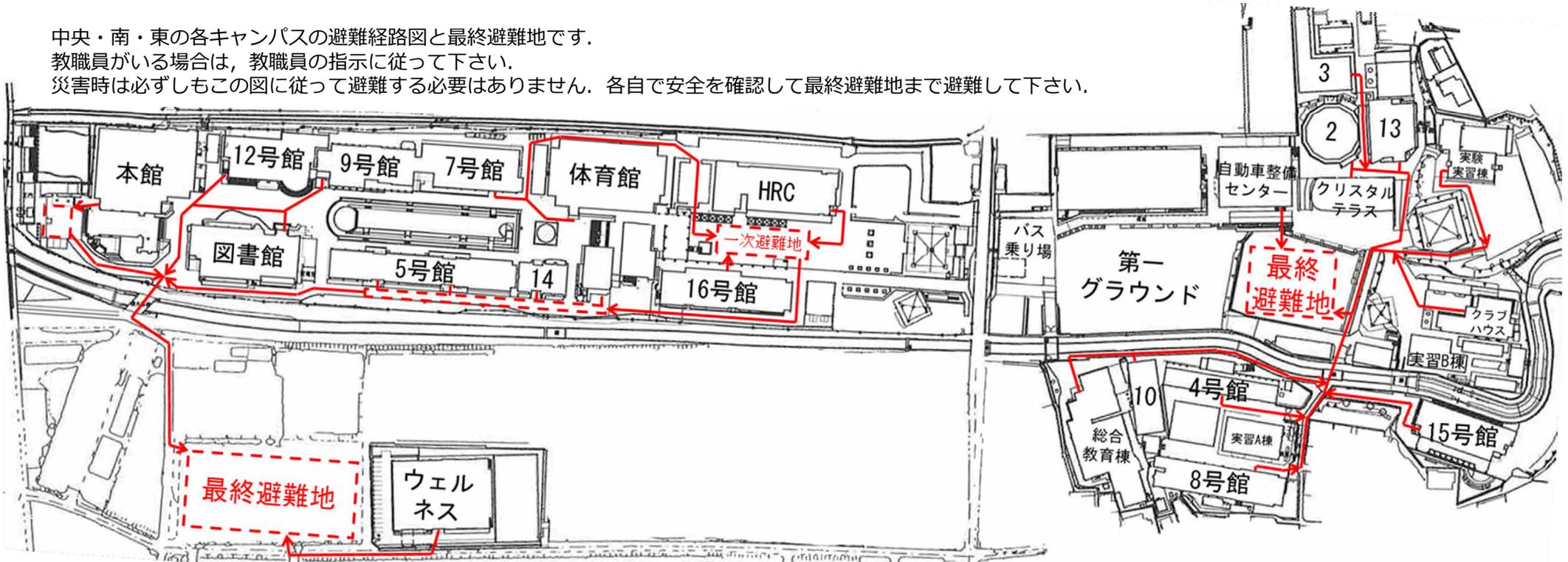
### ②揺れがおさまったら

### ③落ち着いたら



中央・南・東の各キャンパスの避難経路図と最終避難地です。  
教職員がいる場合は、教職員の指示に従ってください。

災害時は必ずしもこの図に従って避難する必要はありません。各自で安全を確認して最終避難地まで避難して下さい。



#### [事前の準備]

大地震は忘れた頃にやってくると言われています。そして必ずやってきます。大地震を防ぐことはできませんが、事前に準備することで被害の度合いを減らすことができます。

1. 外出中に大地震が発生したら、身の安全を確保することが第一です。周囲の状況を含めて正確な情報を収集するように努めて下さい。余震の危険性がありますので、エレベータや電車など閉じ込められてしまう可能のあるものはできるだけ避け、徒歩で避難するようにして下さい。
2. 身を守る手順について確認して下さい。高層階、地下街、沿岸部などは地震や津波の被害が大きくなる可能性があります。これらの場所では、常に避難経路について確認して下さい。
3. 停電や回線の混乱で携帯電話は使えなくなる可能性が高いです。携帯電話のむやみな使用は避け、電池を温存して下さい。また、事前に家族との連絡方法や待ち合わせ場所について確認しておいて下さい。
4. 長期の避難所生活を想定し、自分に必要な薬や必要な衛生用品を常に保管しておくよう心がけて下さい。
5. 一人暮らしをしている人は近くに連絡を取り合える人と事前に確認をして下さい。大学の近くに住んでおり、安全が確保できる場合は大学に避難するようにして下さい。
6. 留学生で言葉の問題など不安がある場合は、事前に自分の情報を日本語で書いたものを用意しておいて下さい（このマニュアルの表面に記載して所持して下さい）。